

# 会報

No. 61

平成15(2003)年8月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9  
京都府立図書館内  
TEL (075)762-4655

## 四十路のひびくと

京都府立総合資料館

私は、「京都府立総合資料館」、  
当年とって四十歳です。

加齢現象でしょう。だいぶ肌(外  
観)や血管・内臓(設備)にくたび  
れが目立ってきました。しかし、頭  
(所蔵資料)はいたって健康です。

私の周りは、四季折々の趣があっ  
て大変居心地が良いのですが、私は  
ものみなが萌え出づる「春」が大好  
きです。

三月初め頃から一か月以上にわたっ  
て山桜が順番に咲いていきます。ソ  
メイヨシノは一本もありません。い  
かにも《京都》って感じですね。そ  
して、花水木、木蓮、ツツジ、サツ  
キが続きます。野草も負けていませ  
ん。タンポポ、母子草、ハルジオン、  
カタバミ、ニワセキシヨウ、ネジバ  
ナなどが咲き乱れます。先日は三、  
四歳の女の子がおばあさんと一緒に  
ネジバナを摘んで、小さい手に一杯  
持って帰っていききました。

閲覧室からは、一二〇〇年京都の  
栄枯盛衰を見守り続けている霊峰比  
叡が目の前に見えます。京都の歴史、  
文化など京都に関することを学んで  
いただくのに、こんなロケーション  
に恵まれたところは、そうさらには

ないでしょう。そんな環境に恵まれ、  
多くの研究熱心な府民の方々に利用  
されながら年を重ね、今年で齢四十  
を迎えました。

この間、「東寺百合文書」が平成  
九年に国宝に、十四年には「京都府  
行政文書」が、十五年には「革嶋家  
文書」が国の重要文化財に指定され  
ました。また、平成十三年五月の再  
開館を機に、府立図書館と協力して、  
「京都府図書館総合目録ネットワー  
クシステム」やデジタル画像で見る  
ことのできる「貴重書データベース」  
を構築し、府民サービスの向上を図っ  
てまいりました。

そういえば、平成十三年五月に再  
開館して以来、もう二年が経過しま  
した。新府立図書館に、一般図書を  
中心に所蔵図書の約半分(約三十五  
万冊)を移管しての再開館でした。  
スリムになった私は、京都に関する  
専門資料館として、京都の歴史、文  
化、産業、生活等の諸資料(図書、  
古文書、行政文書、写真資料、近代  
文学資料等)を重点的に収集・整理・  
保存する施設と位置付けられました。  
再開館当初は、スリムな私を府民の  
方々がどのように評価されるか心配  
しておりましたが、来館者数(⑭十  
五万人余)を見ますと、一定の評価  
を受け、馴染んできていただいで  
いるのではないかと考えています。



昨年十二月には、私のところに所  
蔵されている「京都らしさを象徴す  
る貴重な文化遺産」の保存・活用策  
について、学識経験者の提言を受け、  
「京の文化振興プラン(その一)」  
「京都府が所蔵・保管する貴重な資料  
の活用方策」がとりまとめられ  
ました。このプランに基づき、今年  
度から、IT時代にふさわしい「京  
の歴史・文化デジタル発信事業」や  
「京の貴重資料緊急保存活用事業」  
などに取り組んでいます。  
ところで、うちの館長は、府教委  
にいる時、府立図書館改築に携わっ  
たようだし、知事部局で国立国会図  
書館関西館の誘致にも携わったよう  
です。おそらく館長は、府立図書館  
や関西館、さらには多くの関係機関  
との連携をもっともっと密にしたい  
と思っています。私への府民の期待は、大きいもの  
と自覚しています。これからも頑張っ  
ていきます。どうぞよろしくお願  
いします。

(代筆) 京都府立総合資料館長  
吉池 一郎

# 京都市立図書館等連絡協議会定期総会開催

平成十五年度

平成十五年度京都市立図書館等連絡協議会定期総会が、平成十五年五月二十二日(木)午後一時三十分より、京都市立図書館において開催されました。

まず、開会行事として、山本徳善京都市立図書館長のあいさつ、内海啓也国立国会図書館関西館事業部長、中西和之京都市教育庁指導部教育企画監からの来賓あいさつ、主催館の京都市立図書館から中里隆憲館長の歓迎あいさつがありました。

続いて、異動による変更を含む理事の紹介、事務局の紹介のあと、城陽市立図書館の田中芳子館長を議長に選出し、事務局からの出席館数の確認を経て(加盟館六十六館中出席三十二館、委任状二十九館、欠席五館で会則第十二条により総会成立)、議事に入りました。

## ◇会務報告・決算報告

佐々木京都市立図書館事務局長より、平成十四年度会務報告及び決算報告の説明がありました。

決算報告について、十四年度は、子どもゆめ基金助成活動のため、理

旅費を配慮する必要もあるのではとの講評をいただきました。

## ◇事業計画(案)・予算(案)

佐々木京都市立図書館事務局長より、平成十五年度事業計画(案)及び同予算(案)の説明がありました。

その中で、相互協力事業費について、『京都市公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録』の作成のための研究費や拡大相互協力委員会開催のため、ほぼ、据え置きにしている点の説明がありました。

以上、採決を経て、すべての議案

が承認され、定期総会は終了いたしました。

引き続き職員表彰の後、辰巳義幸先生(大阪芸術大学講師)から「子ども読書推進と公共図書館の役割」と題した講演をいただき、公共図書館における児童サービスについて理解を深める場となりました。

また、会場の外には、「子ども読書絵てがみコンテスト」の作品が展示され、全入選作品が見られる貴重な機会となりました。

## ◇職員表彰

今年度は、二十五名の表彰者がありました。(敬称略)

- 垣本 延子(京都市伏見中央図書館)
- 蓮池 泰子(京都市伏見中央図書館)
- 柳川 正春(京都市醍醐中央図書館)
- 竹谷 芳子(京都市醍醐中央図書館)
- 高井かづみ(京都市醍醐中央図書館)
- 増田 邦雄(京都市左京図書館)
- 羽田野聡子(京都市下京図書館)
- 竹村 典子(京都市吉祥院図書館)
- 伊藤 博美(京都市吉祥院図書館)
- 古川昇太郎(京都市右京図書館)
- 並河 智子(京都市右京図書館)
- 高見 華江(京都市醍醐図書館)
- 野田千賀子(長岡京市立図書館)
- 大石 充子(城陽市立図書館)
- 上崎 恵子(城陽市立図書館)
- 堀井 千裕(城陽市立図書館)
- 田島三貴子(久御山町立図書館)
- 西尾 洋子(京田辺市立中央図書館)
- 西陰地成美(井手町図書館)
- 生駒 彩子(綾部市図書館)
- 岡山 理恵(舞鶴市立東図書館)
- 西鉢 朋子(舞鶴市立東図書館)
- 稲葉 都(京都ライトハウス)
- 河原 茂記(京都市立図書館)
- 竹内 和子(京都市立図書館)

点字図書館



職員表彰の様

## 定期総会講演

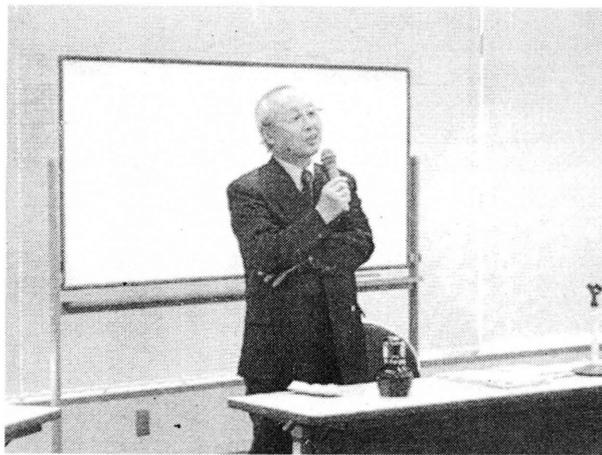
## 「子どもの読書推進と公共図書館の役割」 抜粋

大阪芸術大学講師 辰巳義幸氏

「子どもの読書推進に関する法律」は、理念法なのでそれは到達する目的である。

しかし、実際に実行するには図書館の現状を見ると難しい。ただ、この法律ができたといっても、普段から公共図書館の仕事を全うしていれば、問題はないはずである。

それでは、児童サービシスに当たる図書館員の仕事とは何か。それは、



すべての子どもに読書や図書館に親しみをもち、まだ知らない優れた資料を紹介し、子どもが気軽に本を読んだり、図書館にこられる形を作ることである。

特に、子どもに適切な資料を手渡すことは、図書館員の最も得意とすることではなければならない。子どもの本についての知識を持たない図書館員は、極端に言えば、いてもいなくても同じである。また、へ読書の側に立つという姿勢をもつことも大切。子どもの成長の過程で、人間としてのコミュニケーションをはぐくむのに、読書が非常に大切な役割を果たすからである。そのスタンス・信念がなければ、あやふやなサービシスになってしまう。

児童図書館員の役割は、適切な蔵書を構成し、子どもと本を結びつけ、子どもと本の相対的な関係をたくみに作り上げることである。公共図書館では子どもを集団でなく、個々の子どもを対象にするため、その子に適した資料をさしだしてやるべきで

ある。

そのため、児童図書館員の要件は、子どもを知っていること、子どもの本を知っていること、子どもを本にいざなう技術(ストーリーテリングやブックトークなど)をもっていることである。

さらに、児童図書館員の仕事は、まず適切な収書をする。その中でも、(民族遺産の継承と伝達)というのを忘れてはならない。それが組織体としての図書館の重要な仕事のひとつであるから。ついで、地域との協力。学校図書館・子ども会・子ども文庫・ボランティア活動の人たちとの連携・協力をもつことが重要である。

児童サービシスの職務内容としては、その根幹に(専門職としての責任)がある。そのために、時には自分の時間を犠牲にしても研修に励む。専門職としての責任にはそのくらいの義務があると考えてよい。

館内の運営に対する業務としては、この運動の基本計画を実行していくに当たっても、まず目標の設定、方針の決定が必要である。サービシス統一を検討し、分析し業務の到達点を設定する。また業務の優先順位を決定して重点の置き方を考える。実行のあとには結果の評価をする。計画

実行、評価のサイクルを繰り返す。資料に関する業務としては、収集方針の決定である。まだ明確にされていない図書館が多いが、どこまで手を伸ばし、どこで切るかなど方針を定め、成文化して、住民に公表する。利用者に対するサービシスのどこまでやるかを決めておくことが大事である。

その他、公共図書館で結果がよく見えるのは、本に対する利用者の反応である。それをもって出版界に働きかけ、よりよい出版をしよう。さらに、社会全体に対する貢献としては、目録・書誌・索引などの作成や児童資料の質の向上を図る。また、児童資料の整備をきちんとやって利用しやすいようにしておく。読書環境は、今後の計画に大きく関係してくる。さらに、子どもの情報アクセス権を保証するため、図書館員として子どもの意見をよく聞くことが必要である。

以上を一つ一つよく分析し、不足がなければ、読書推進法に対処する際に慌てる必要はないと考える。

(平成十五年京図連協定期総会時の講演の一部を、広報委員会でもまとめ抜粋しました)

京図連協共催

子ども読書絵てがみコンテスト

昨年度末より京都府立図書館と共催で行っていただきました「子ども読書絵てがみコンテスト」の審査委員会が、四月十八日京都府立図書館で行われ、各賞の受賞作品が決定いたしました。その中から、「京都府図書館等連絡協議会会長賞」に選ばれた五作品をご紹介します。

また、五月三十一日の大山崎町を皮切りに、現在、入選作品は市町村

の巡回展示を行っております。今後の予定は下の表のとおりとなっておりますので、お近くの方は、ぜひ、会場に足をお運びください。

なお、佳作以上の六十作品については、京都府立図書館ホームページ(<http://www.library.pref.kyoto.jp/>)に画像データが掲載されておりますので、併せてご活用ください。

今後の巡回予定

市町村名	展示期間	展示場所
美山町	15年8月16日(土)～ 15年8月29日(金)	図書館内に展示
加悦町	15年9月2日(火)～ 15年9月13日(土)	加悦町中央公民館内に展示
岩滝町	15年9月17日(水)～ 15年9月27日(土)	知遊館展示室に展示
日吉町	15年9月30日(火)～ 15年10月18日(土)	生涯学習センターエントランスに展示
宮津市	15年10月22日(水)～ 15年11月4日(火)	宮津市立前尾記念文庫内に展示
宇治田原町	15年11月7日(金)～ 15年11月19日(水)	図書館内に展示
宇治市	15年11月22日(土)～ 15年12月5日(金)	図書館内に展示
加茂町	15年12月8日(月)～ 15年12月26日(金)	図書館内に展示
城陽市	16年1月9日(金)～ 16年1月28日(水)	図書館内に展示
園部町	16年1月31日(土)～ 16年2月12日(木)	図書館内おはなしの部屋に展示
京田辺市	16年3月23日(火)～ 16年3月28日(日)	図書館展示室に展示

〈幼児の部〉  
 栢岡 佑奈 さん  
 『つんつくせんせいと  
 ふしぎなりんご』  
 宮津市立由良幼稚園  
 読んでほしい人：  
 先生



〈小学校1・2年生の部〉  
 川崎 梓 さん  
 『世界がもし100人の村だったら』  
 宇治市立伊勢田小学校  
 読んでほしい人：大人  
 のひとみんな

〈小学校3・4年生の部〉  
 的場 瑞季 さん  
 『十月のみずうみ』  
 夜久野町立育英小学校  
 読んでほしい人：同級  
 生



〈小学校5・6年生の部〉  
 小谷 真由香 さん  
 『てつがくのライオン』  
 宮津市立宮津小学校  
 読んでほしい人：5年  
 生から6年生

〈中学生以上の部〉  
 中原 希莉衣 さん  
 『夜のネコ』  
 亀岡市立南桑中学校  
 読んでほしい人：  
 小さい子供達



# 第12回京都図書館大会

「21世紀の図書館像を探るPART III」

今年度は、レファレンス業務におけるインターネットの利用を中心に、以下の内容で開催することとなりました。

ぜひ、ふるってご参加ください。

日時 平成十五年九月十日(水)十時二十分～十六時(受付十時)

会場 同志社大学今出川校舎弘風館2F(K25)  
日程(開会行事十時二十分～十時三十分)

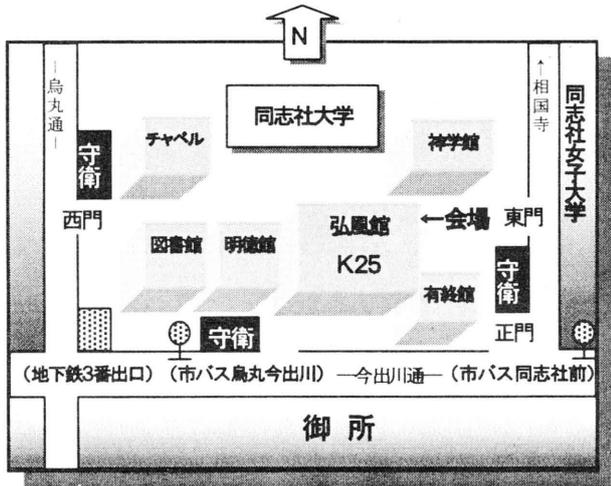
特別報告 十時三十分～十二時  
①「国立国会図書館のホームページを利用したレファレンス」

②「インターネットを使ったレファレンスの実際」

特別講演 十三時～十五時  
「インターネット時代の図書館像」

～図書館員に求められる資質～  
青山学院大学文学部 助教 野末 俊比古 氏

交流協議・まとめ 十五時～十六時  
申込み 平成十五年九月五日(金)



までに、電話・郵送・FAX・Eメールでお申込みください。  
申込み先 〒6068343 京都市左京区岡崎成勝寺町9 京都府立図書館内 京都図書館大会実行委員会宛  
電話 075-762-4655  
FAX 075-762-4653  
E-mail: sasaki@library.pref.kyoto.jp  
資料費 五〇〇円(当日徴収)  
注意事項 駐車場はありません。市バス烏丸今出川若しくは同志社大学前、又は、地下鉄烏丸線今出川駅(3番出口)で降りて下さい。  
懇親会 十七時三十分～於ルビノ京都堀川(参加費 三〇〇〇円)

## 本年度のその他の研修計画

平成十五年九月二十五日(木)～二十六日(金)  
全国公共図書館総合・経営部門研究会  
集会  
「多様なニーズにこたえる図書館経営のあり方―今後の図書館経営はどうあるべきか―」(茨城県水戸市)

平成十五年十月九日(木)～十日(金)  
全国公共図書館サービス部門研究会  
集会  
「図書館は生まれ変わるか―市町村合併と図書館サービスの再構築―」(鳥取県鳥取市)

平成十五年十一月二十七日(木)～二十八日(金)  
第八十九回全国図書館大会  
「創めよう!図書館の世紀―知・人・夢づくり―」(静岡県静岡市)

平成十五年十二月十八日(木)  
近公図研究会及び児童奉仕部門研究集会(神戸市総合教育センター)  
平成十六年二月三日(火)  
六日(金)

文部科学省近畿地区図書館職員研修(大阪教育センター他)

平成十五年十一月二十日(木)(北部)  
平成十五年十二月三日(水)(中部)

平成十五年一月または二月(南部)  
京図連協実務研修会(詳細は、専門委員会ニュース)

## 新図書館長・施設長紹介

京都市伏見中央図書館	小川 明夫
京都市東山図書館	上田 明男
京都市下京図書館	今坂 尚
京都市南図書館	早野 潔
京都市久世ふれあいセンター図書館	小島 公夫
京都市西京図書館	松屋 勇雄
京都市洛西図書館	長谷川幸治
京都市久我のもり図書館	清水 孝章
長岡京市立図書館	西村 千秋
八幡市立八幡市民図書館	仁科 晴夫
宇治田原町立図書館	上野 照雄
木津町中央図書館	山田 尚夫
精華町立図書館	井上 藤樹
亀岡市立図書館中央館	中澤 猛
園部町立園部中央図書館	牧野 修
八木町立郷土資料館図書室	齋藤 進
日吉町生涯学習センター	
遊 you ひよし図書室(旧)	日 静夫
吉町ふるさと文庫	粟路 静夫
美山町立図書館	桂 隆雄
福知山市立図書館	衣川 英夫
舞鶴市立東図書館	安藤 一秋
舞鶴市立西図書館	溝畑 俊樹
伊根町立本庄地区公民館	浜野 義之

京図連協役員・委員変更一覧

(太文字が昨年度からの変更部分)

〈副会長〉

中澤 猛(亀岡市立図書館)

〈理事〉

南北 敦子(京都府立図書館・相互協力委員長)

溝畑 俊樹(舞鶴市立西図書館・広報委員長)

早野 潔(京都市南図書館)

西村 千秋(長岡京市立図書館)

井上 藤樹(精華町立図書館)

◎相互協力委員会

嶋田 ゆみ(宇治市中央図書館)

平居 千明(京都府立総合資料館)

◎研修研究委員会

吉本 康夫(久御山町立図書館)

池田 文美(木津町中央図書館)

大西 敏之(園部町立園部中央図書館)

石原 明子(京都ライトハウス点字図書館)

◎広報委員会

小西 健一(八幡市立男山市民図書館)

西陰地成美(井手町図書館)

東條 朝一(京都市右京図書館)

専門委員会ニュース

◎相互協力委員会

平成十五年度第一回相互協力委員会を、六月二十日(金)午後二時から京都府立図書館で開催した。過去二回冊子体で刊行された、「雑誌新聞総合目録」については、その後も刊行の要望も多くあり、Klibが完成した現在、新たな形式での目録作成を目指していくこと、具体的な実務事項については次回からとりかかることで了承を得た。

次に、平成十七年度に府立図書館のコンピュータシステムの更新が予定されており、それに向けて、実際にKlibで仕事をされている市町村からご意見やご希望をお聞きする場を設け、今秋に第一回を開催することです了承を得た。

また、学校で行われている総合学習の本格化にもなっており、利用が増えている学校図書館へのサービスについて意見交換等がなされた。

今後の日程では、実務担当者会議を年明けに開催する予定。

最後に、しばらく休刊となっていた「連絡車だより」を復刊する予定であるとの報告があった。皆様のご協力をお願いいたします。

◎研修研究委員会

平成十五年七月三日(木)に京都市醍醐中央図書館で、平成十五年度第一回研修研究委員会を開催し、今年度の事業計画について、次のとおり立案しました。

北部会場

平成十五年十一月二十日(木)

場所 みやづ歴史の館

講師 長岡京科学あそびの会

代表 小野 操子氏

テーマ「簡単なもの作りで身近な科学あそび」

内容 科学おもちゃの作成と講義

中部会場

平成十五年十二月三日(水)

場所 京都ライトハウス・ホール

講師 京都ライトハウス点字図書館

館長 田尻 彰氏

テーマ「視覚障害者サービス(公共図書館)(仮題)」について

講演と館内見学

南部会場

平成十六年一月または二月

場所 国立国会図書館関西館

内容 国立国会図書館の職員による講義と館内見学

詳細については、今後検討してまいります。研修会の案内がお手元に届きましたら、お誘いの上、多数の参加をお待ちしています。

◎広報委員会

平成十五年度第一回広報委員会を七月二日に府立図書館で開催し、今年度の発行計画及び会報六十一号の編集方針等を協議しました。

今年度の会報発行は年三回とし、

○第六十一号 八月十五日

○第六十二号 十一月十五日

(予定)

○第六十三号 三月十五日(予定)と決定しました。

☆編集子☆

広報委員会も現体制となつて二年目となりますが、今回、人事異動等により、六人のメンバーのうち二人が変更になりました。新しい風が吹き込んできました。新メンバーとともに、今まで以上に皆様に喜んでいただける紙面づくりが出来ればと考えています。